※令和３年度以前入学生用

学校番号 T3014

令和５年度　数学科

教　科	数学	科　目	数学Ⅱ	単位数	３単位	年次	４年次
使用教科書	「新　高校の数学Ⅱ」（数研出版）						
副教材等	自作プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題演習に積極的に取り組むことで、計算力思考力の向上を図る。
小テスト等を実施して、各項目の理解度を確認するとともに、基礎理解の充実を図る。

２　学習の到達目標

図形と方程式について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	三角・指数・対数関数や微分法・積分法の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	三角・指数・対数関数や微分法・積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	三角・指数・対数関数や微分法・積分法において事象を数学的に表現し処理する技能を身に付けている。	三角・指数・対数関数や微分法・積分法における基本的な概念を理解している。
評価方法	興味・関心・態度 知識の定着 レポート提出 定期考査	興味・関心・態度 知識の定着 レポート提出 定期考査	興味・関心・態度 知識の定着 レポート提出 定期考査	興味・関心・態度 知識の定着 レポート提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	三角関数	三角比・一般角 三角関数 三角関数の性質 三角関数のグラフ	○	○	○	○	a:一般角の三角関数の公式や定理を活用できる。 b:三角関数を用いて表現したり、考察したりすることができる。 c:三角関数の値を求めることができる。 d:三角関数の基本的な性質について理解している。	レポート提出 出席 期末考査
	指数関数	指数法則指数の拡張(1) 累乗根・指数の拡張(2) 指数関数のグラフ	○	○	○	○	a:指数関数の公式や定理を活用できる。 b:指数関数を用いて表現したり、考察したりすることができる。 c:拡張した指数の値を求めることができる。 d:指数関数の基本的な性質について理解している。	レポート提出 出席 期末考査
後期	対数関数	対数 対数の性質 対数関数のグラフ	○	○	○	○	a:対数関数のグラフの概形を点をプロットして描こうとする意欲がある。 b:対数と指数の関係から両者のグラフが互いに直線 Y=X に関して対称であるという見方ができる。 c:対数の性質を用いる際に、真数が正であることに着目できる。 d:対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。	
	微分法と積分法	**微分法** 平均変化率 微分係数 導関数	○	○	○	○	a:微分係数を接線の傾きに活用できる。 b:直線の傾きを平均変化率や微分係数を用いて表現したり、考察したりすることができる。 c:平均変化率や微分係数の値を求めることができる。 d:平均変化率や微分係数の基本的な性質について理解している。	レポート提出 出席 期末考査

※令和３年度以前入学生用

		積分法 不定積分 不定積分の計算 定積分	○	○	○	○	a: 面積が定積分で表せることに興味・関心をもち考察しようとする。 b: 微分法の逆演算としての不定積分を考えることができる。 c:与えられた条件を満たす関数を、不定積分を利用して求めることができる。 d:定積分の定義を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。